

日本共産党
野洲支部が

JAおうみ富士と野洲市に要望

Aコープ跡地に商業施設の設置を

近江富士団地のJAおうみ富士所有地に店舗の開発を求める要望書

JAおうみ富士組合長 様

滋賀県住宅供給公社開発の当団地は、入り口に農協のお店ができることが掲げられており、安心して住みつづけられると思い、京都や大阪から転居してまいりました。近江富士団地に住む住民にとって、Aコープはなくてはならないお店でした。

撤退され2年になりますが、当団地の高齢化率も一段と高まり、また買い物に不便なため、若者が団地から出て駅前の買い物に便利なところに住む状況であり、益々高齢化に拍車をかけています。

バスを利用したの買い物は、重たい荷物は持てず大変困っています。

貴組合の今後の開発計画は、どのようになっているのでしょうか。更地になっている貴組合の土地に、ぜひとも食料品等の店舗を設置していただきたく、切に要望いたします。

2004年12月15日

日本共産党野洲支部
支部長 太田 勝子

十二月二十四日に来年度予算要望で、市当局と交渉しました。その席上で野並市議は、「Aコープ跡地について、行政としても商業施設の開発を、JAおうみ富士に求めていくべき」と要求しました。

当局は「開発の時の条件であり、食料品などを販売できる施設は必要であると考えている。行政としても、JAおうみ富士に対して指導をしていく」と発言がありました。

「行政としても、JAおうみ富士に指導を行なう」

大田支部長は、「高齢者でさえも転居を考えている状況であり、生鮮食料品店の開発を」とせまりました。

今堀眞治郎総務部長は「Aコープの再開はありえない。今後のことは、白紙ですが、みなさんのお気持ちは良くわかります」と応対しました。

総務部長「みなさんの気持ちわかります」

近江富士団地入り口の、Aコープが撤退し二年余。車を運転できない方々にとっては、バスに乗って買い物に行かなくてはならず、大変不便になりました。食料品や日用雑貨のお店の設置が求められています。日本共産党野洲支部は、JAおうみ富士に対して、商業施設設置の要望書を提出しました。交渉には、野並市議も参加しました。また、野洲市にも、JAおうみ富士への指導を求めました。

やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会
2005年1月15日 13

あなたのご意見・ご要望をお寄せください

小菅六雄 比江668-3 TEL589-4971 FAX 589-6184
野並享子 北野1丁目7-10 TEL587-0985 FAX 586-1102

